

— 境西中学校運営協議会から — 「剛志学府」境西中学校運営協議会のまとめ

令和5年2月9日(木)に、今年度最後となる第4回境西中学校運営協議会が開催されました。境西中学校運営協議会委員の皆様には、過日行われた「未来力学習講座」で学習した1、2年生の書き初めの掲示物を中心に校内見学をしていただいた後、各報告と本年度の成果と課題について協議をしました。各委員の皆様から感想や質問、ご意見を多数いただき、とても充実した会議となりました。

1、報告

(1)伊勢崎市学校運営協議会連絡会議

- (結城校長) ・各地区の取組は地域性があり、本校でも取り組んでも良いのではと思うものもありました。
- ・人と対面で関わり、絆を深めるネットワーク作りが大切だと感じました。
 - ・伊勢崎市の特徴は、「外国籍が多いこと」「特支の子ども達の状況」などがあげられます。学校だけでは解決できない課題を、委員の皆様からもご意見をいただいて解決していくことが大切です。今後も学校と地域は、共にあるべきだと考えています。

(2)本年度の小学校の成果と課題、次年度の方向性について

- (三木校長) ・剛志小は「楽しい!」「面白い!」「うれしい!」気持ちがあふれる学校を目指し経営しています。子ども達に自己決定力を身につかせ、自立を目指しています。自分の成長に目を向け、成長した自分を実感させ、自己肯定感を育てています。

学校評価について 第1回目の目標値より第2回目の方が下がった項目についてあげます。【学校は楽しい】の項目が下がったので、改善をしていこうと思います。【家庭学習】の目標時間が到達していないので、『家庭学習ハンドブック』をもとに、目標を持って学習させ、また、CRT学力検査結果を分析し、課題内容の補充学習をさせたいと思います。【健康づくり】では、十分に睡眠をとっていると答えた児童が3%以上減りました。睡眠不足は、気力・体力・心身の健康につながるので、学年の発達に応じた指導をしていきます。また、電子機器の使用は、睡眠時間の減少につながるので、家庭にもよく指導していきます。

- ・学校は、子どもの心理的・身体的安全を守る場所です。剛志小の先生方は、子どもを肯定的・共感的に受け止め、子どもの成長に目を向け、寄り添って指導しています。



2、協議

〈議長：石原会長〉

(1) 本年度の中学校の成果と課題、次年度の方向性について

(結城校長) ・学校行事(校外学習、修学旅行、体育祭、合唱コンクールなど)や、未来力学習講座、特別支援学校の生徒さんたちとの交流、フードドライブ活動など、外部の方からたくさんの協力をいただきました。今後も人と人とのつながりを大切に、子ども達の成長につなげていきたいです。

生徒指導について いじめ問題や生徒の問題行動など少し事案がありましたが、現時点では解決しています。「いじめは許さない」という約束は、小学校との連携で行っています。毎月の生活アンケートに、子どもからの訴えがあったものは全職員で事実確認をし解決します。今後もいじめをださない人間関係づくりに努めます。先日、剛志小と連携して「子ども未来会議」を行いました。小・中の代表児童生徒が3年ぶりに対面で集まり、いじめについて考えました。教師はサポート役で、西中生徒会役員が主体で行いました。小学生もとてもしっかりしていて、相互作用が生まれました。中学生の取組を小学生が持ち帰ってくれたら、嬉しいです。

学校に足が向かない、教室に入れない生徒に対し、教職員はひとりひとりの子どもに寄り添い対応しています。子どもの居場所が学校にあるよう、また行きたくない子どもを作らない指導を続けていきます。

校則の見直しについて 子ども達が自立し、積極的に居場所づくりができる学校を目指しています。生徒アンケートをもとに生徒会で協議し、教職員と話し合ってきました。来年度4月の生徒総会で決定する予定です。この校則の柱は、生徒の安心・安全な通学や学校生活を守ることです。変更については、生徒にとって緩くなっていると感じられるかもしれませんが、逆に自分で何が良いか判断しないと、新しい校則にあてはまらなくなるので、厳しくなっていると教職員は捉えています。

ICTを活用した学習 「いせさきGIGAALスクール」構想をもとにICT学習を行っています。本校はステップ3を目指しています。タブレットを活用して、分からないことが分かるようになったと回答する生徒が多く、効果的と言えます。生徒が興味・関心を持ち見通しを持って粘り強く学習に取り組み、また自己の学習活動を振り返って、学びを深める主体的な学びにつながりました。今後は、授業の中で分かったことを仲間と共有して学びを深め、確かな学力につながるよう、校内研修で取り組んでいきたいと思えます。



(樋澤教務主任)

中学校学校評価アンケートについて 7月と12月に実施し、その推移を比較、気になる項目をあげます。目標時間(2時間以上)の家庭学習を行っている生徒が減っています。小・中学校どちらにも現れている結果ですので、家庭にも投げかけ、これまでの積み上げがなくならないようにしていきます。清掃活動が、あまりできていないと感じる教師が増えています。が、教師の目が厳しくなっているのかもしれませんが、相手の立場に立って物事を考えられる生徒があまり育っていないと感じる教師も増えています。今年度、道徳の授業を全教職員で関わっており、今後も続けていきます。6時間以上の睡眠をあまりとれていない生徒が増えています。学習時間は減ってきているので、学習以外の時間(ゲーム、インターネットなど)に使っているのかもしれませんが、改善が必要です。日常生活の中での運動量が減ってきたのは、3年生の部活引退が理由と考えられます。

(2) 質疑・応答、感想等

(石原会長) 不登校や、教室に入れない生徒さんにはどのように対応していますか。

(結城校長) 生徒と、担任、保護者のつながりが切れないう、電話やタブレットなどでやりとりしています。不登校になる原因は一つでなく、いろいろと重なっています。これを取り除けば登校できるという訳ではありません。コロナも関係していると思います。人との関わり方に不安を感じている子もいます。理想の自分と現実の自分へのジレンマもあるかもしれません。相談室対応や、ほっとる一むも支えてくれています。いろいろなアプローチをして、生徒が安心して登校できるよう、それぞれに寄り添いながらその生徒にあった対応をしています。



(永井委員) タブレットがあるから、学校へ行かなくていいと思う生徒はいませんか？

(結城校長) 人との関わりが大切であり、それが学校にくる意義です。タブレットで授業を共有視聴すれば良いという考えに流れてしまうのではないと考えます。

(須藤委員) ほっとる一むに来ている生徒の中には、ゲームやインターネットを夜にやっていて、昼夜逆転の生活になっています。人とのコミュニケーション、社会性を身につける必要があります。誰にでも弱い所はあります。弱い所を自分でコントロールできるかが重要です。

(石原会長) いじめはどうですか？

(結城校長) 西中は先輩後輩の上下関係をあまり感じません。学校生活の場面では、一生懸命やりたい時など、お互いの価値観の違いからトラブルが起き、それが引き金になることもあります。教職員が把握してすぐ解決するようにしています。

(高柳委員) 西中の校則(持ち物など)は今も他校よりも自由に感じます。他学区の生徒が集まる高校見学や、入試のときなど他校との違いを見ると、少し心配になってきます。

(石井教頭) 他校の様子もふまえて校則は決めていきます。西中だけが自由という訳ではありませんし、入試に影響することもないです。

(結城校長) まずは校則が、生徒にとって安心・安全であることを大前提にすることが重要であると考えます。今日、この場で保護者の方の意見を聞かせていただき、とてもありがたいです。

(石原会長) 中学生の登下校についてはどうでしょうか？

(結城校長) 登下校時、門の所で教職員が指導を毎日行っています。「とまる・みる・確かめる」「並列しない」の言葉かけをしています。学校から離れた所ではどうか心配です。

(三木校長) 子どもの少ない地域だと、下校時の見守りが行き届かない所もあると思います。

(石原会長) 学校から地域への要望はありますか？

(石井教頭) 「いこいの里」北東のゴミステーション交差点が危険だと連絡をしました。「とまれ」の色が薄いようですが、改善していただきました。

(永井委員) 警察、市役所に要望書は出しています。カーブミラーはつけてもらいましたが、申請した所とは別の所についてしまいました。別件で、上武士の北側の354バイパスで、逆走車の情報があり、警察と市役所に連絡をしたところ、すぐに白線をひく対応をしてくれました。他にも防犯灯など設置していただいております。

3、剛志学府の取組について

〈議長：和佐田公民館長〉

(1) 本年度の成果と課題について

(和佐田公民館長) **フードドライブ事業について** 今年度3回行いました。全部で千個を超える寄付品が集まりました。感謝の言葉をたくさんいただきました。

夏休み子ども絵画教室について 市内7つの公民館で行われ、本学区外のお子さんも来ました。境西中美術部の4名が講師の方のアシスタントとして活躍してくれました。歳に近い中学生がいたので、小学生は楽しそうでした。

剛志地区米寿喜寿祝賀会について 剛志小6年生にお祝いメッセージカードを作ってもらいました。区長さん、民生委員さんを通して記念品とともにお年寄りに届けてもらい喜んでいただきました。

「制服リサイクル事業」について 合計224点の寄付をいただき、157点を配布しました。アンケートの感想には、感謝の言葉ばかりでした。

(2) 次年度の方向性について

(和佐田公民館長) それぞれの事業が有意義であったので、来年度も継続して実施予定です。ただ、フードドライブ活動については、国内外の情勢や、地区のご家庭の事情をふまえ、複数回実施するのではなく、寄付品の回収期間を長くするなどして、1～2回に集中して実施した方が良いかもしれません。

7、その他

(1) 諸連絡

令和5年度境西中学校運営協議会委員について

来年度6月の初旬に第1回運営協議会を行います。委員には任期がありませんので、また引き続き委員をしていただければありがたいです。PTA保護者代表の方は、一年の任期となります。ありがとうございました。

「体力優良証交付率優良校」の表彰

体力テストのレベルがAランクの生徒が境西中学校は多く、体力づくりを良くやっているということでの表彰です。これも、小学校からの積み重ねと言えます。

今後も子どもと一緒に成長できる学校を目指したい
と思います。

学校運営協議会委員の皆様、
一年間ありがとうございました。